

# 地域包括ケアネットワークの構築と、医療・介護の連携強化の取組み(輪島市)

(目的) 安心して住み続けられる輪島市を目指すため、介護・医療等の関係機関のネットワークの構築を図り、継続的・包括的ケアを提供する。

(方向性) 地域医療の中核機関である輪島病院と福祉関連施設との連携体制を見直し、在宅・施設・地域医療を含めた包括的ケア体制に変革し、相互の連携及び、市全体のケア体制を協議する場とする。

## わじまケアネット組織体制図



サービス事業者別部会名

管理者会議(施設長等管理者)

代表者会議(各部会代表)

居宅介護支援部会

介護保険施設部会

地域密着型サービス部会

居宅サービス  
訪問介護部会  
訪問看護部会  
通所介護部会

介護予防部会

地域医療  
・市立輪島病院  
・医師会  
・歯科医師会

各部会の活動内容

- ・福祉制度や認知症の研修
- ・事例検討

- ・情報交換
- ・地域医療との連携強化
- ・地域に開かれた介護施設への取組み

- ・事例検討
- ・コミュニケーションスキルアップ研修

- ・情報交換
- ・事例検討

- ・情報交換
- ・介護予防研修

- ・医療と介護の連携会議



(わじまケアネット事務局)

- 輪島病院地域連携室
- 介護保険担当課
- 地域包括支援センター

(都道府県名を記入)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	輪島市
②人口（※1）	30,061人 ( )
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 39.1% ( ) 75歳以上 23.5%
①取組の概要	わじまケアネット連絡協議会活動事業 安心して住み続けられる輪島市を目指すため、介護・医療等の関係機関のネットワークの構築を図り、継続的・包括的ケアを提供することを目的とする。
⑤取組の特徴	この連絡協議会は、介護保険施設サービス・居宅介護支援・居宅サービス・地域密着型サービス・介護予防サービスの各事業者と、地域医療の代表者及び行政関係者で組織され、医療・介護サービス事業者間の情報交換や連携強化、サービスの質の向上に向けた研修会の開催等を行い、地域の特性に応じた質の高いサービスを継続的・包括的に提供できる地域包括ケアの推進に取り組んでいる。
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	わじまケアネット連絡協議会規約に基づき、わじまケアネット代表者会議を立ち上げ、初年度は医療と合同の研修会を開催し、認知症や男性介護者支援、地域医療と看取りについて学び、現状と問題点の共有を図った。 H24年度は地域医療に歯科医療代表者を新たに加え、口腔ケアの研修会を開催。また、継続事項として医療と介護サービス間の連携強化を図った。
⑧主な利用者と人数	平成24年度実績 研修会7回 参加者569人、医療介護連携会議3回 参加者124人、代表者会議5回 70人、各部会活動合計25回 参加者467人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：わじまケアネット連絡協議会 関連団体：地域医師会、歯科医師会、市立輪島病院
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	市補助金 300,000円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	継続して取り組んでいく課題として、医療と介護サービス間の連携強化があげられる。今後は、研修会の開催や情報交換からサービス向上につながった事例など、ケアネットの活動を評価し、今後の取組みにつなげていきたい。
⑬今後の取組予定	1. 医療と介護サービス間の連携強化 2. 介護サービス・介護予防情報の地域への周知
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	輪島市地域包括支援センター TEL0768-23-1174 (Fax0768-23-1138)

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を( )内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。